



国会はじまる！ 国民民主党2トップ 自動車の思いを代弁 トリガー条項凍結解除・当分の間税率撤廃を問う



第213回
通常国会

Vol. 1



2月1日(木)2日(金)通常国会「衆」「参」本会議において「国民民主党」の玉木代表及び榛葉幹事長が、ガソリン減税・自動車税制について首相に対応を迫りました！

国民民主党

玉木 代表

衆議院議員



- 今年4月末で補助金によるガソリン値下げが終了。生活者目線や被災地支援の観点からも5月以降もガソリン値下げが必要。
- 業界への補助金は無駄遣いと、会計検査院等からの指摘もあり、「トリガー条項凍結解除によるガソリン減税」に切れ目なく移行することが求められる！
- 法改正や周知期間の時間を考慮して、5月からスタートできるように、「今、総理の政治決断を求める！」

- ガソリンにも、自動車重量税にもかかっている「当分の間税率」は当初“暫定”と言われながらも50年間継続しており速やかに撤廃すべき！
- 加えて、自動車にかかわる税金は「9種類」もあり、世界に類を見ない複雑かつ過重な税制となっている。
- 集めた税金を「使う側」ではなく、私たちと同じ「働いて税金を払う側」に立ち、自動車税制を見直すべき！
- 総理の見解を求める！

国民民主党

榛葉 幹事長

参議院議員



【岸田総理大臣】

- 燃料油価格の激変緩和措置は4月末まで継続。その後の出口戦略は与党と国民民主党とで総合的に勘案して様々な手法の検討を進めている。
- 当分の間税率は国や地方収益に組み込まれているので、廃止は慎重であるべき。後の自動車関連諸税については、税制改正大綱に記載されたとおり、中長期的な視点に立って検討を行う。



補助金施策が終わる5月以降、ガソリン価格が高騰し、家計・経済に打撃を与えぬよう
磯崎議員も、トリガー条項凍結解除の与党との実務者協議に臨んでいます！

本質疑内容につきましては、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

- ・2月1日「衆」本会議 玉木雄一郎 https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=54867&media_type=
- ・2月2日「参」本会議 榛葉賀津也 <https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/detail.php?sid=7739>



本件に関するお問い合わせは自動車総連 政策局までご連絡ください。

